

Data Contents

	経済動向
33	■ 九州の鉱工業生産動向
34	■ 福岡県の最近の経済動向
36	■ 熊本県の最近の経済動向
38	■ 長崎県の最近の経済動向
40	■ 佐賀県の最近の経済動向
	経済指標
42	■ 全国のデータ
43	■ 福岡県のデータ
44	■ 熊本県のデータ
45	■ 長崎県のデータ
46	■ 佐賀県のデータ
53	海外拠点紹介



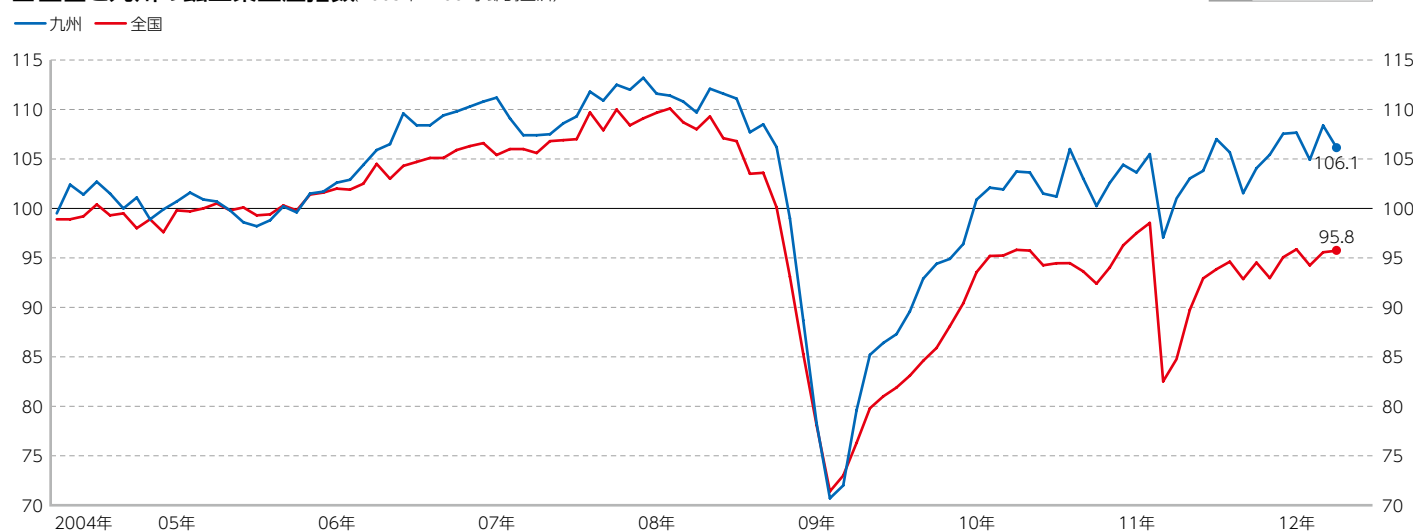
九州の鉱工業生産動向

基調判断 | 生産は横ばい傾向

2012年4月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、電子部品・デバイスがゲーム機マイコン、一般機械では液晶パネル工場向け搬送ロボットの生産が減少したこと等により、前月比2.2%低下の106.1と2ヵ月ぶりに前月を下回りました。昨年12月以降、生産指数は上昇・低下を繰り返し横ばい傾向となっています。

■全国と九州の鉱工業生産指数(2005年=100・季節調整済)

出所 九州経済産業局

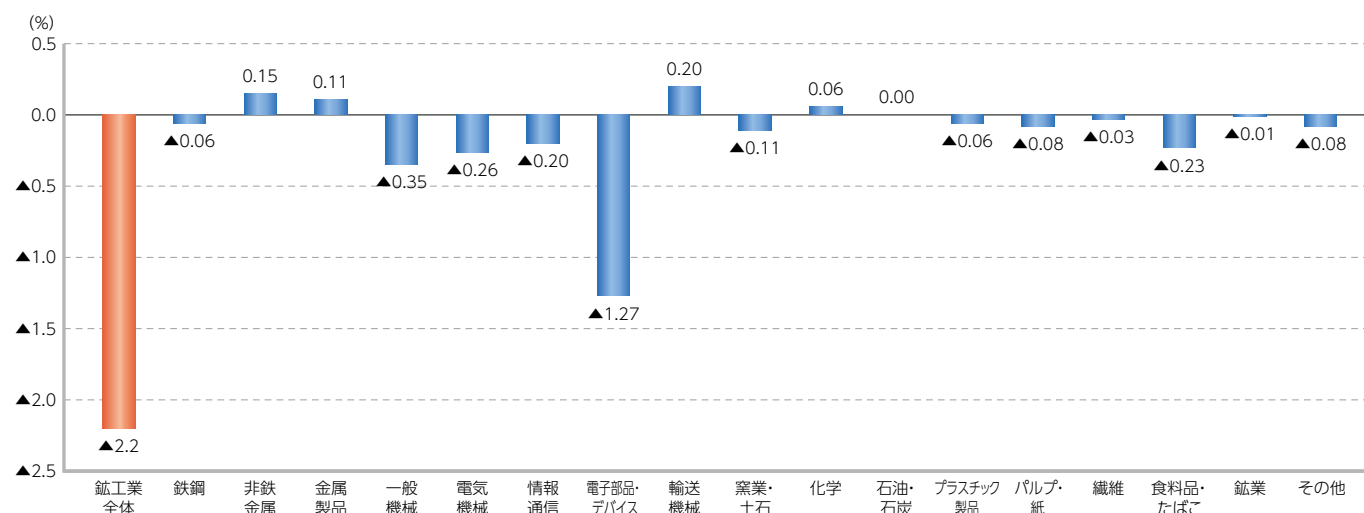


業種別動向 | 電子部品・デバイスをはじめ、幅広い業種で低下

業種別の寄与度をみると、輸送機械は自動車引き続き高水準の生産を維持し上昇した一方で、電子部品・デバイスはゲーム機向けマイコン等、一般機械では液晶パネル工場向け搬送ロボット等が減産となり低下した他、電気機械が太陽電池モジュールの生産設備の定期メンテナンスにより減産となったこと等によりマイナスとなりました。

■業種別寄与度(鉱工業生産指数)

出所 九州経済産業局



福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

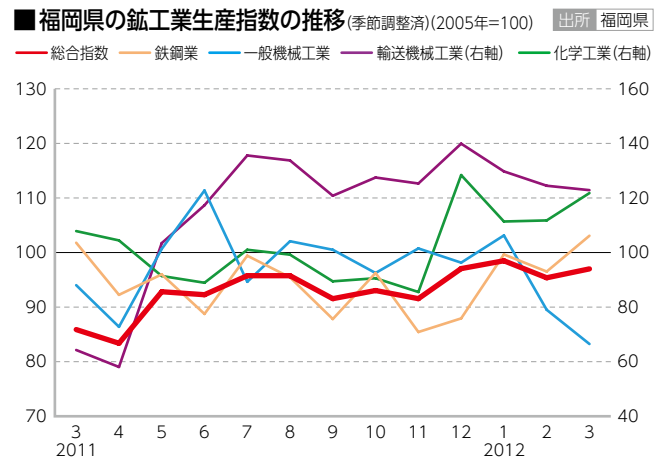
生産活動については、一般機械等が低下したものの、化学や鉄鋼等が高水準の操業を続ける自動車生産に牽引され上昇する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

消費面では、大型小売店販売額は、新博多駅ビルの開店効果が一巡した他、衣料品が振るわなかったこと等により前年を下回っています。住宅建設、公共工事はほぼ前年並みの水準となりました。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに上昇

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は96.8となり前月比1.7%上昇しました。

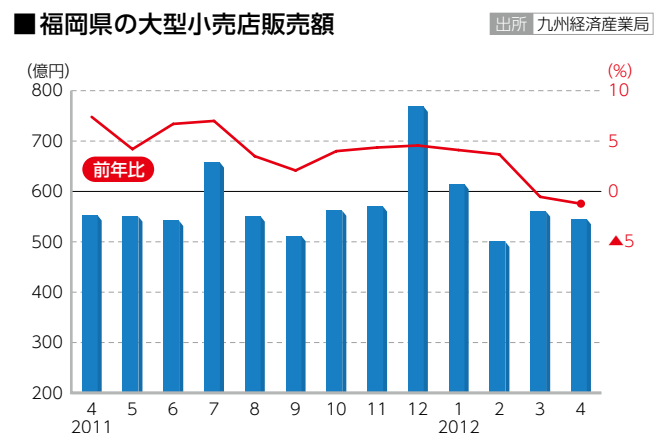
主要産業では、一般機械は産業用ロボット等が減産となったものの、医薬品や自動車向け部材が好調だった化学に加え、自動車向け鋼材が増産となった鉄鋼等が上昇に寄与しました。



2.大型小売店 | 2ヵ月連続で前年を下回る

4月の大型小売店販売額は、前年同月比1.2%減の545億円で、2ヵ月連続で前年を下回りました。

新博多駅ビルの開店効果が一巡した他、天候不順の影響で衣料品が振るわなかったこと等により前年を下回りました。



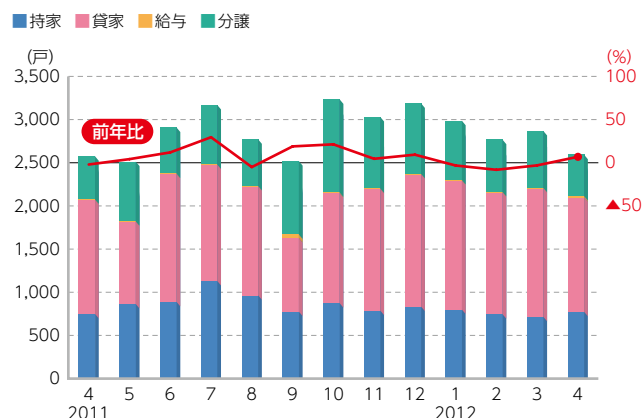
3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、2,592戸と前年同月比0.7%増加し、4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

分譲は僅かながら減少した一方で、持家、貸家が増加し、全体としてはほぼ前年並みの水準となりました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



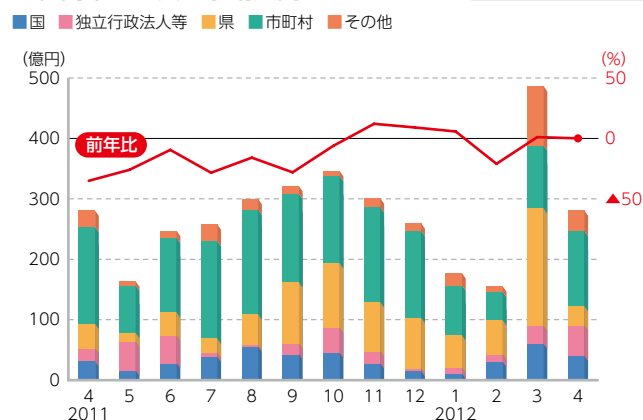
4.公共工事 | 請負金額は2ヵ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比8.5%減の421件、金額は同0.1%増の281億円となり、請負金額は2ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、「県」、「市町村」が減少した一方で、「国」は堰の改築工事、「独立行政法人等」は高速道路関連で複数の大型工事があり増加しました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 小口を中心に倒産件数は前年を上回る

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比16.7%増の35件、負債総額は同53.8%減の40億円となりました。

小売業で約12億円の大型倒産があったものの、小口の倒産が多く、負債総額は4ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いているものの、一部に減速傾向が見られる

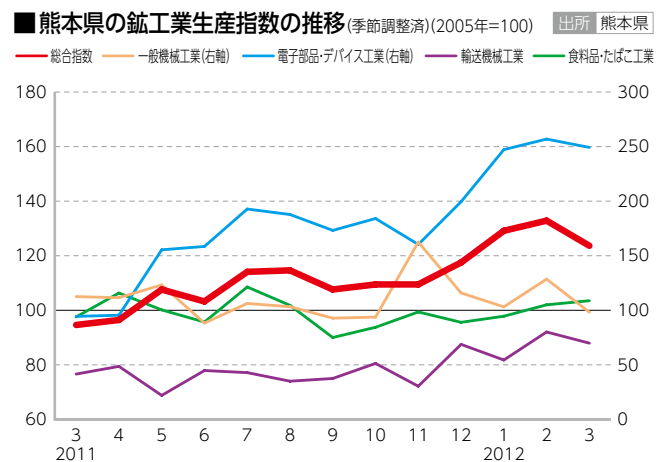
生産活動については、食料品・たばこは小麦粉等の生産が好調に推移する等持ち直しの動きが続く一方で、薄型テレビ向け製品が減産となった電子部品・デバイスが低下する等、一部業種に減速傾向が見られます。

消費面では、大型小売店販売額は、新店舗の開店効果により前年を上回っています。住宅建設は、分譲・貸家の着工が好調で前年を大幅に上回りました。

1.生産活動 | 総合指数は6ヵ月ぶりに低下

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は123.6となり、前月比6.6%低下しました。

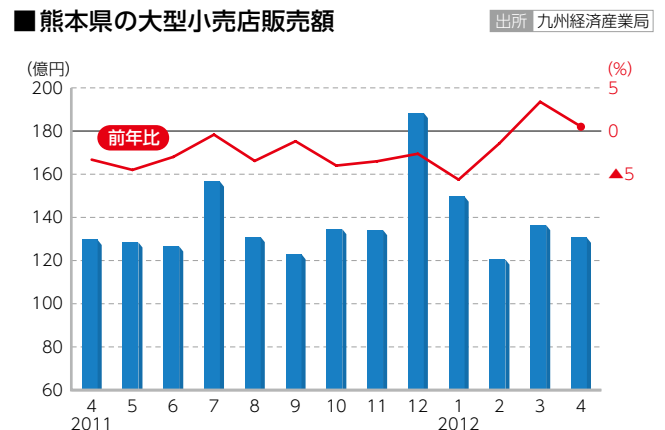
主要業種では、食料品・たばこが小麦粉等の好調により上昇した一方で、前月スポット需要により増産となっていた特殊産業機械が反動で減少した一般機械、薄型テレビ向けの部品が減産となった電子部品・デバイス等一部業種に減速傾向が見られます。



2.大型小売店 | 2ヵ月連続で前年を上回る

4月の大型小売店販売額は、前年同月比0.6%増の130億円と、2ヵ月連続で前年を上回りました。

衣料品が振るわなかったものの、昨年7月の新店舗開店効果等により、全体としては前年を上回っています。



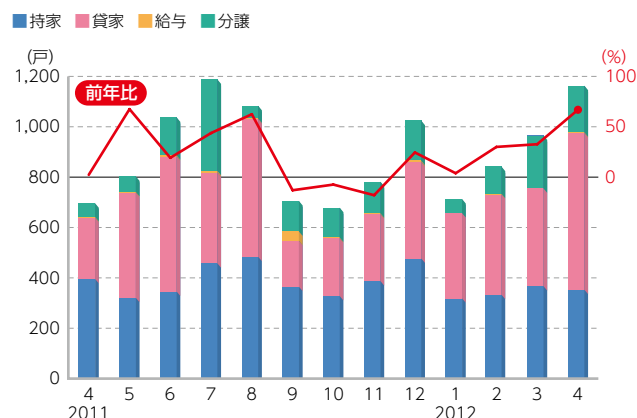
3.住宅建設 | 5ヵ月連続で前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比67.1%増の1,163戸と5ヵ月連続で前年を上回りました。

持家が減少した一方で、分譲マンションの在庫調整の進展により分譲が増加した他、貸家は熊本駅周辺の賃貸需要が活発になっていること等により大幅増となり、全体でも前年を大幅に上回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



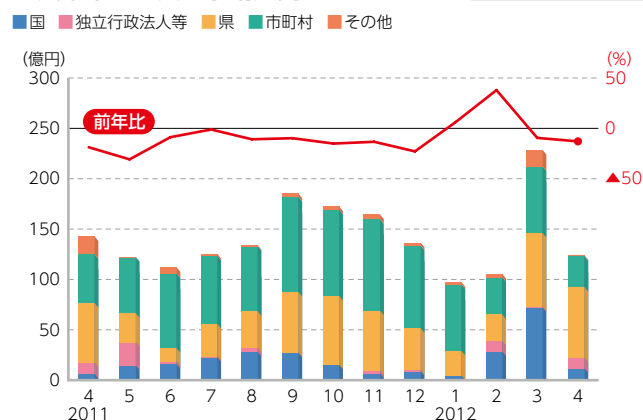
4.公共工事 | 請負金額は2ヵ月連続で前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比9.8%減の286件、金額は同13.1%減の124億円となり、請負金額は2ヵ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、「国」や庁舎新築等の大型案件があった「県」は前年を上回ったものの、大型案件に乏しかった「市町村」、「その他」は前年を下回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



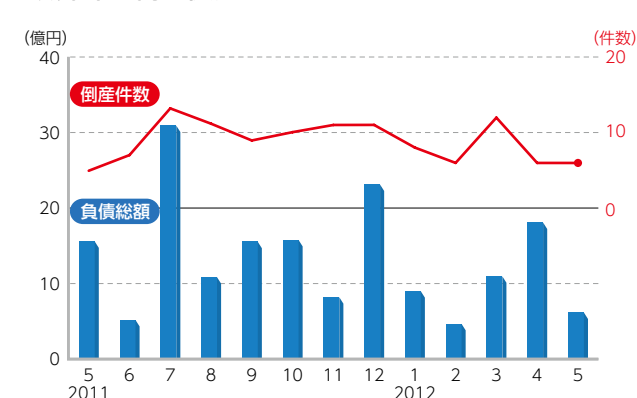
5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比20.0%増の6件、負債総額は同61.1%減の6億円となりました。

電気工事業で約4億円の大型倒産があったものの、小口の倒産が多く、負債総額は3ヵ月ぶりに前月を下回っています。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 持ち直しの動きが弱まっている

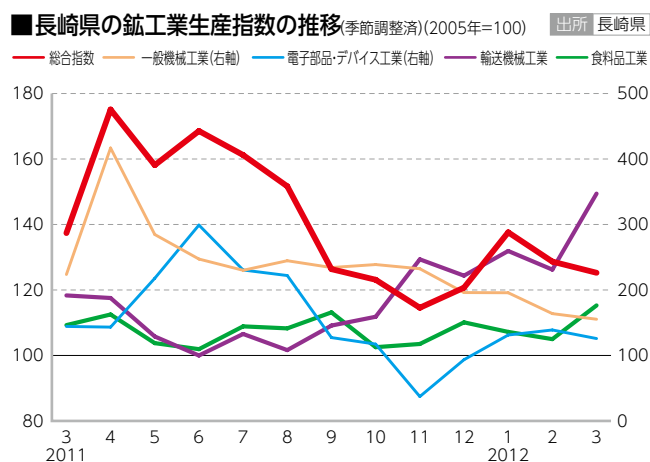
生産活動については、輸送機械は造船が安定した操業を継続し上昇した一方で、一般機械や電子部品・デバイスが低下する等、持ち直しの動きが弱まっています。

消費面では、大型小売店販売額は、昨年的大型百貨店閉店の影響が続いており、9ヵ月連続で前年を下回っています。住宅建設は、前年急増した分譲の反動減等により前年を下回りました。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月連続で低下

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は125.3となり、前月比2.5%低下しました。

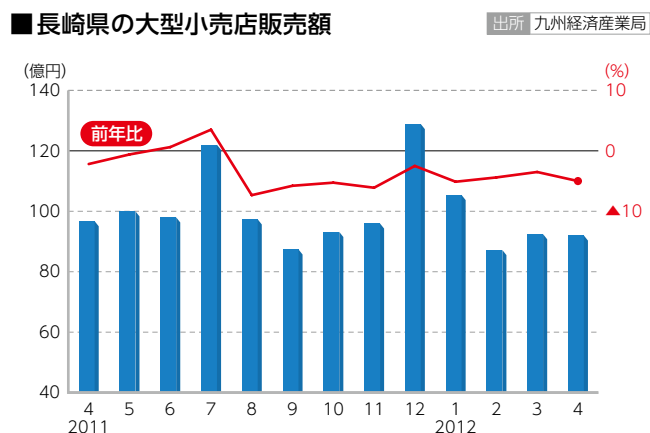
主要産業では、輸送機械は造船が安定した操業を継続し上昇した一方で、原動機が生産製品の入れ替え時期にある一般機械や、海外需要を中心に減速感が見られる電子部品・デバイス等が低下しています。



2.大型小売店 | 9ヵ月連続で前年を下回る

4月の大型小売店販売額は、前年同月比5.0%減の92億円と、9ヵ月連続で前年を下回りました。

昨年7月末の百貨店閉店の影響が続いており、ほぼ全ての品目で前年を下回る等、低調に推移しています。





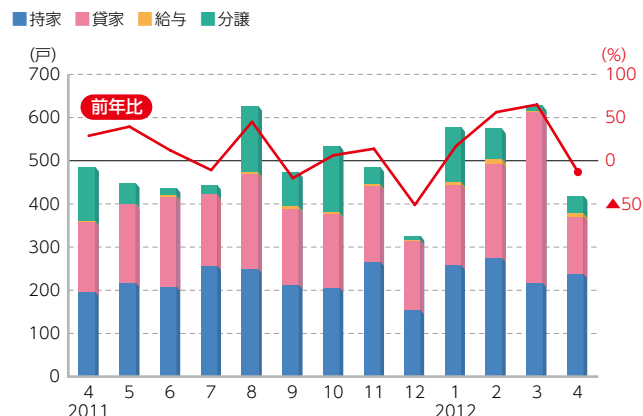
3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比13.8%減の419戸と前年を下回りました。

持家が増加した一方で、昨年4月に分譲マンションが急増した反動で分譲が減少した他、貸家も減少し、全体ではマイナスとなりました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



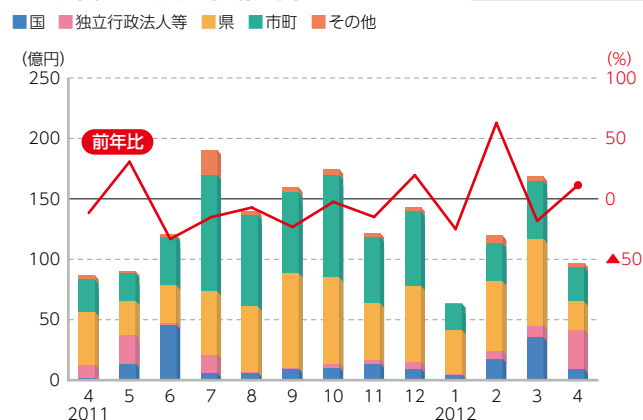
4.公共工事 | 請負金額は2ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比2.4%増の127件、金額は同11.9%増の97億円となり、請負金額は2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

発注者別では、「県」が前年を下回った一方で、「国」や鉄道関連の大型案件があった「独立行政法人等」が大幅に増加しました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数は前年を上回る

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比42.9%増の10件、負債総額は同51.8%減の17億円となりました。

負債総額は、前年を下回ったものの、養殖業で約5億円、製造業で約5億円の大型倒産があった他、1億円超の倒産が相次ぎ、2ヵ月連続で増加しました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 低調ながら一部に持ち直しに向けた動きが見られる

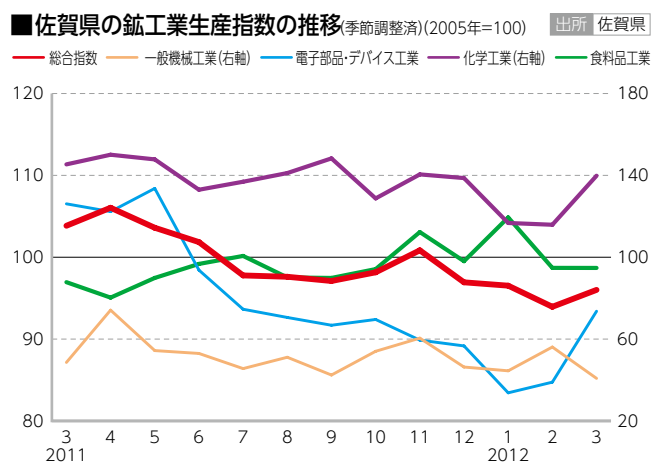
生産活動については、一般機械が低下する等全体的に低調ですが、化学や電子部品・デバイスが上昇する等、一部業種に持ち直しに向けた動きが見られます。

消費面では、大型小売店販売額は、昨年の店舗閉店の影響が続いており、9ヵ月連続で前年を下回りました。住宅建設は、持家・貸家を中心に堅調に推移し、7ヵ月連続で前年を上回っています。

1. 生産活動 | 総合指数は4ヵ月ぶりに上昇

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は96.0となり、前月比2.1%上昇しました。

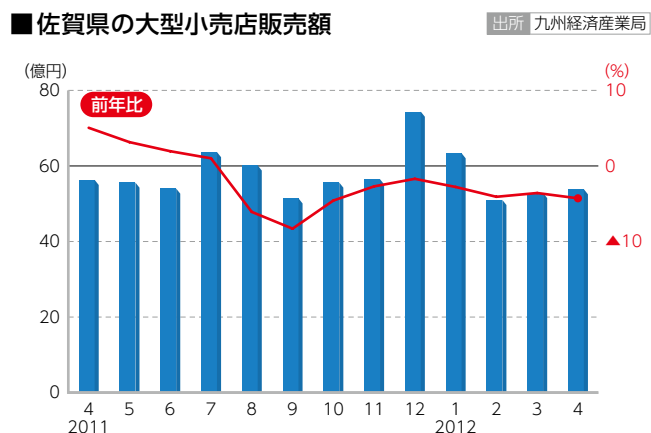
主要産業では、一般機械が低下したものの、化学が大きく上昇した他、電子部品・デバイスも上昇したことが、4ヵ月ぶりのプラスに寄与しました。



2. 大型小売店 | 9ヵ月連続で前年を下回る

4月の大型小売店販売額は、前年同月比4.3%減の54億円と、9ヵ月連続で前年を下回りました。

主力の飲食料品が振るわなかったことに加え、昨年6月のスーパー閉店の影響も続いており、全体では前年を下回っています。





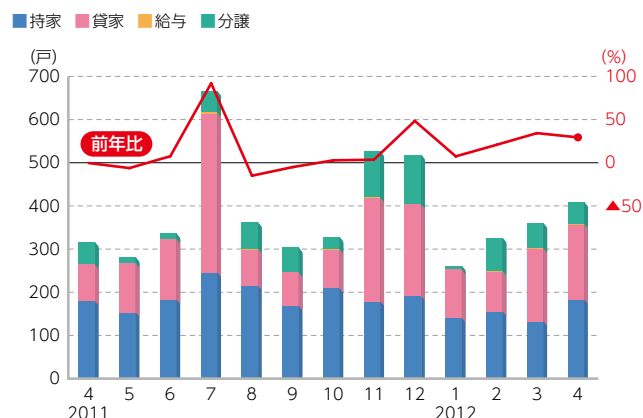
3.住宅建設 | 7ヵ月連続で前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比29.4%増の409戸と7ヵ月連続で前年を上回りました。

分譲が僅かながら減少した一方、貸家が前年大幅に減少していた反動から倍増した他、持家も堅調に推移したことから全体では前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



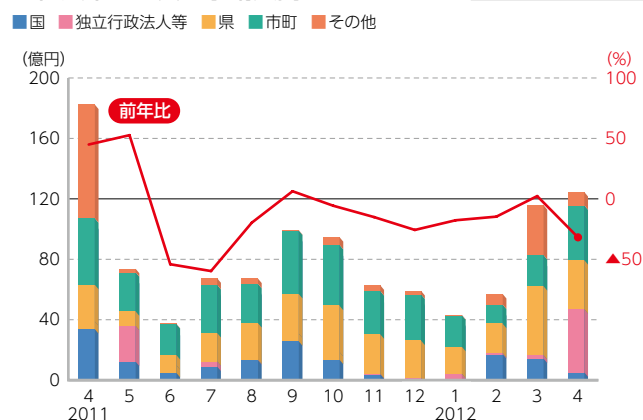
4.公共工事 | 請負金額は2ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比33.2%減の139件、金額は同31.7%減の125億円となり、請負金額は2ヵ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、昨年発注の無かった「独立行政法人」や「県」は前年を上回ったものの、大型案件に乏しかった「国」、「市町村」は前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を下回る

5月の企業倒産(負債総額1,000万円以上)は、件数は前年同月比28.6%減の5件、負債総額は同57.9%減の9億円となりました。

旅館業で約6億円の倒産があり、負債総額は前月比で増加しました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

